

みずほCustomer Desk Report 2022/10/04 号 (As of 2022/10/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	144.90 AUD/USD
TKY 9:00AM	144.80	0.9794	141.58	1.1135	0.6420
SYD-NY High	145.40	0.9844	142.44	1.1333	0.6522
SYD-NY Low	144.16	0.9754	141.41	1.1087	0.6403
NY 5:00 PM	144.58	0.9823	142.11	1.1325	0.6515

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	29,490.89	765.38	日本2年債	▲0.0600%	▲0.0100%
NASDAQ	10,815.43	239.81	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,678.43	92.81	米国2年債	4.1114%	▲0.1592%
日経平均	26,215.79	278.58	米国5年債	3.8808%	▲0.2049%
TOPIX	1,847.58	11.64	米国10年債	3.6416%	▲0.1860%
シカゴ日経先物	26,605.00	660.00	独10年債	1.8910%	▲0.2165%
ロンドンFT	6,908.76	14.95	英10年債	3.9430%	▲0.1505%
DAX	12,209.48	95.12	豪10年債	3.9110%	▲0.0640%
ハンセン指数	17,079.51	▲ 143.32	USDJPY 1M Vol	12.27%	0.27%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	11.90%	▲0.40%
NY金	1,702.00	30.00	USDJPY 6M Vol	11.67%	▲0.22%
WTI	83.63	4.14	USDJPY 1M 25RR	▲1.43%	Yen Call Over
CRB指数	272.82	4.53	EURJPY 3M Vol	13.42%	▲0.48%
ドルインデックス	111.75	▲ 0.37	EURJPY 6M Vol	13.31%	▲0.41%

東京	東京時間のドル円は、前週の流れを引き継ぎ、朝方に144.89まで上昇後に一服し、144.80レベルでオープン。144円後半で方向感無く推移するも、13時過ぎには手掛かりの無い中で145.30まで急伸して為替介入後の高値を更新した後、144.66まで反落するなど短時間で激しい値動きを見せた。その後は、鈴木財務相による牽制発言もある中、再び144円後半で推移し、144.93レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.93レベルでオープン。145円を挟んで方向感のない推移。朝方は145.22円まで上昇するも米金利の低下や介入への警戒感から売り手に押され144.86レベルまで売られNYに渡った。ポンドドルは、1.1211レベルでオープン。件の英政府減税策で財務省が一部見直しを行うとの報道で英国債の買い戻しとポンド買いで始まり1.1245まで買われる。ただ程なく利食われ1.1160まで下落。そのあとはもみ合い結局ほぼ変わらずの1.1217レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円台後半でスタートし、145円手前で方向感無く推移するが、欧州勢参入後に145.30まで急伸。しかし、145円台では円買い介入への警戒感もみられる中、144.66まで反落し、荒い値動きとなる。その後、145円ちょうどを挟んでもみ合いとなり、144.86レベルでNYオープン。朝方は米金利低下が手掛かりとなり、ドル売りが先行。10時には米9月ISM製造業景況指数が予想を下回ったものの、特段米金利低下ドル売りの流れは変わらず、一時144.16をつける。しかし、押し目ではしっかりと買いが入り、米金利が持ち直したこともあいまって144.80まで反発。終盤は小幅反落し、144.58レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは0.9800を挟んだレンジトレードで0.9769レベルでNYオープン。米金利低下で0.9844まで上値を伸ばす場面持ったが、米金利低下一巡後は0.9800付近まで反落。終盤はクロス円の堅調推移にもサポートされ、小幅値を戻し、0.9823レベルでNYクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・多川

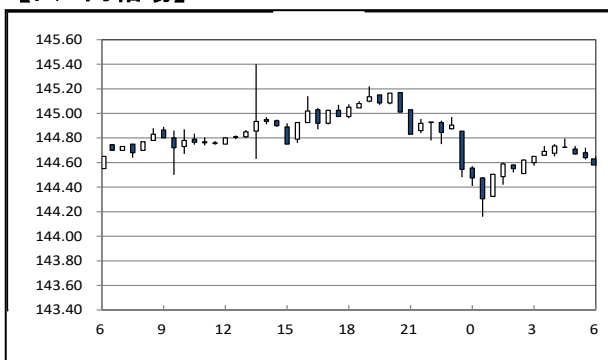
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月3日	23:00	米 建設支出(前月比)	8月 -0.7%	-0.3%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	9月 50.9	52.0
10月4日	04:10	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「FRBの物価抑制の取り組みはまだ終わっていない」	

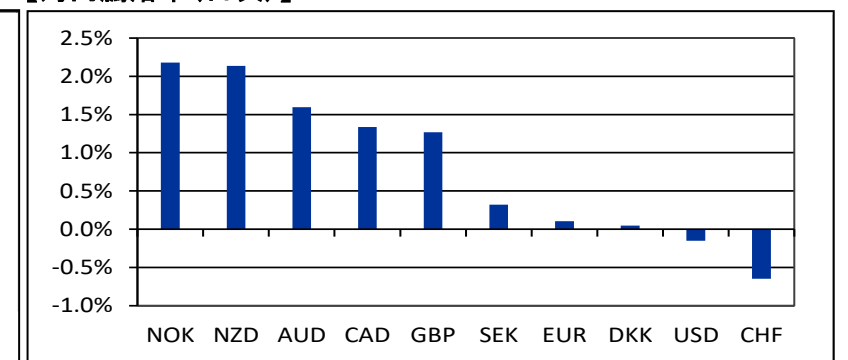
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月4日	12:30	豪 RBAキャッシュレート	4-Oct 2.85%	2.35%
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	8月 5.0%/43.2%	4.0%/37.9%
	23:00	米 製造業受注(前月比)	8月 0.0%	-1.0%
	23:00	米 製造業受注(除輸送)	8月 0.2%	-1.1%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	8月 -0.2%	-0.2%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	8月 0.2%	0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.00-145.30	0.9750-0.9900	141.50-142.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は軟調な展開となった。145円台前半まで上昇する局面があったもののドル買いは続かず、英政府による減税計画の撤回が発表されたことや、発表された米9月ISM製造業景況指数が50.9と市場予想を大きく下回ったことで米長期金利が低下、つられてドル/円も144.16円まで下押しした。その後、NYダウが反発したことを背景に押し目買いが入ったものの上値重い推移となった。本日のドル/円はもみ合う展開を予想。政府・日銀による介入警戒感から昨日の上昇局面でも145円台に定着することができず、上値の重さが確認されている。また、米経済指標の結果が弱かったことから米景気の減速が進んでいるとの見方も台頭しており、ドルが上昇基調に乗ることは難しいと思われる。一方で、144円台前半に下がった局面では買い意欲も強い為、底堅くもあり、ドル/円は144円台中心で方向感出にくい相場となりそうだ。